



【あらたな試み！】

お寺のお役を担っていただいている方々に毎月お届けする光西寺からののおたよりです！

真宗大谷派【東本願寺】光西寺 発行

雲仙市愛野町甲 272

☎ 0957-36-0103

このたびの台風による災害に遇われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。こちらは、たまたま直撃しなかった台風でしたが、あらためて、私たち人間の想定を超えた自然の力、恐ろしさを見せつけられたように思います。

仏教では「自然」を「じねん」と読みます。正信偈に「自然即時入必定」とある、「自然」です。この場合は、「あるがままに、そのようになる」という意味で、仏さまのはたらきを表わします。それが、現在では「nature」の訳としての「自然環境」を意味する言葉となっています。

仏さまのはたらきとしての「自然(じねん)」と、「自然環境」の「自然(しぜん)」。まったく違うようですが、重なりあって受けとめることもあると思います。私たちの理解をはるかに超えたものが「自然」であり、決して人間の思い通りになりません。しかし、わたしたちに大いなる恵みを与えてくれるのもまた、「自然」です。

私たちの先輩、御先祖方は、毎日の決して自分の思い通りならない「自然(しぜん)」環境を通して、仏さまの「自然(じねん)」のはたらきをいただいてきたのだと思います。「自」という字には、「みずから」と「おのずから」という読みがあります。「みずから」の力をはるかに超えた「おのずから」のはたらき、「みずから」を支えてくれる「おのずから」の世界があることを教えてくれるのが、南無阿弥陀仏の教えだと思えます。

宗祖親鸞聖人御命日定例 ごあんない

2019年10月28日(月) 午前9時30分から12時まで
夜 8時から9時30分まで

10月29日から11月1日まで本山団参体参拝
計32名でお参りしてまいります！

おてらまわりはココロのストレッチ！